



おたがいさまがつながり、生きる

未来ファンドおうみ助成事業2012 募集のご案内

市民の寄付を市民活動へつなげる未来ファンドおうみの助成事業を募集します。

市民が主体的に公益的な活動に取り組むことによって、いきいきとした地域社会がかたちづくられることに大きな期待が寄せられています。

淡海ネットワークセンターでは、個人や企業などからお寄せいただいた市民活動への想いを込めた寄付をみなさまの活動支援につないでいきます。

今回は下記の3件の助成事業があります。(どこへ申請したらよいかはご相談ください)

みなさまのご応募をお待ちしております。

※特定非営利活動法人または特定非営利活動法人に準ずる団体（以下「NPO」という。）が応募できます。特定非営利活動法人に準ずる団体とは、特定非営利活動促進法別表に掲げる活動を行う団体（任意団体を含む）で、定款、規約等を持ち、組織として意思決定ができるものをいいます。

募集期間：2011年12月1日（木）～2012年1月21日（土）

助成期間：2012年4月～2013年3月

募集内容：1) おうみNPO活動基金助成
2) びわこ市民活動応援基金助成
3) びわ湖の日基金助成

1) おうみNPO活動基金助成事業の特徴

おうみNPO活動基金は、市民活動団体の組織運営の強化を目的に、滋賀県の資金により2002年度に設立されました。県内の企業、団体、個人の方からの寄付を受け、これまで延べ100団体、総額1億円を超える助成を行ってきました。

助成事業の実施に当たっては、淡海ネットワークセンターが助成金だけでなく、多方面から支援し、組織運営の強化を支えます。

助成事業の概要

<助成対象の事業>

団体に2年以上の活動実績があり、活動の発展と基盤強化につながる新たな取り組みが対象です。

NPOが継続、自立できるように、直接経費に限らず間接経費（40%限度）も助成します。

<助成限度額等> 助成対象経費の3/4以内で、50万円から150万円までの範囲内で決定

<採択予定団体数> 数件程度

<助成総額> 200万円程度

<対象経費> 人件費、福利厚生費、会議費、旅費など。詳細は要項をご覧ください。

2) びわこ市民活動応援基金助成事業の特徴

「びわこ市民活動応援基金」は、ボランティアや市民活動の支援を目的に、関西アーバン銀行（旧びわこ銀行）と社員の皆様からの寄付金によって設立されました。

助成事業の概要

<助成対象事業>

地域で多くの人々が関わり、今後も継続することが期待できる取り組みが対象です。
（事業化、ネットワーク促進、モデル事業など）

<助 成 額> 30万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

<助 成 率> 10/10

<助 成 総 額> 100万円程度

<対 象 経 費> 直接事業費のみ

3) びわ湖の日基金助成事業の特徴

びわ湖の日30周年を記念して、琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる、市民による実践活動や調査活動などを支援するために設立されました。

<助成対象事業>

琵琶湖の保全に関わる、年間を通じた実践活動や調査活動などであり、今後も継続することが期待できる取り組みが対象です。

※ただし、びわ湖の日一斉清掃関連の活動は除外します。

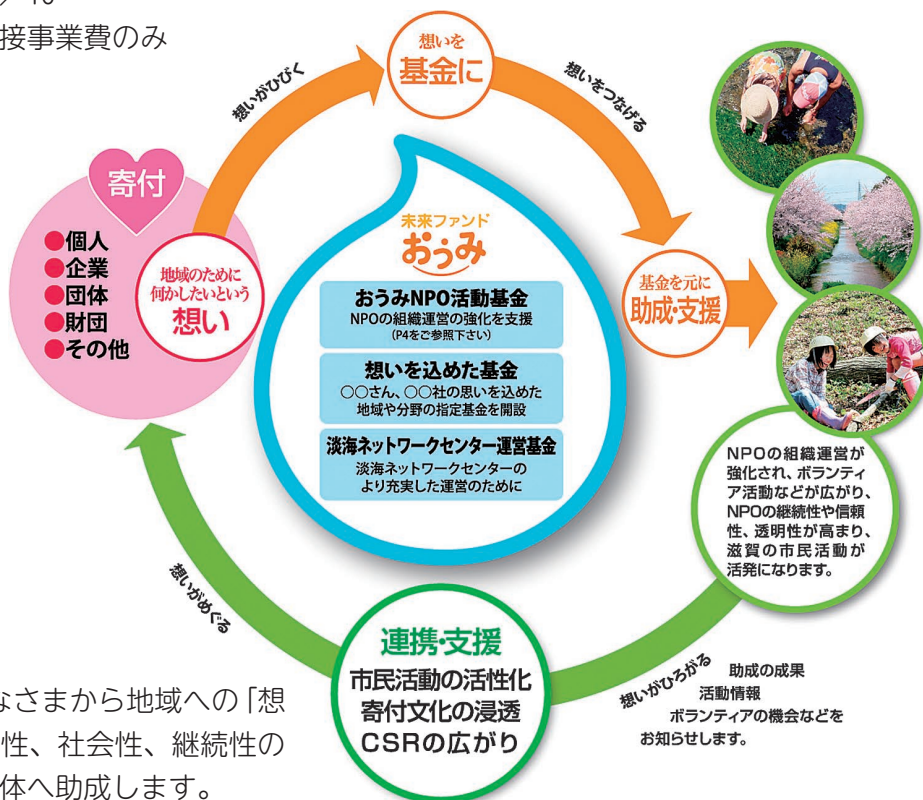
<助 成 額> 30万円以内

<採択予定団体数> 数件程度

<助 成 率> 10/10

<対 象 経 費> 直接事業費のみ

おたがいさまがつながり、生きる
未来ファンドおうみのしくみ



未来ファンドおうみは、みなさまから地域への「想い」を寄付いただき、公益性、社会性、継続性の高い市民活動を実施する団体へ助成します。

未来ファンドおうみ助成事業2012募集要項

1) 募集共通項目

<応募対象者>

次のすべてに該当する特定非営利活動法人または特定非営利活動法人に準ずる団体（以下「NPO」という。）が応募できます。

- 1 滋賀県内に活動拠点または事務所を有すること
- 2 継続的な活動が期待できるものであること

※特定非営利活動法人に準ずる団体とは、特定非営利活動促進法別表に掲げる活動を行う団体（任意団体を含む）で、定款、規約等を持ち、組織として意思決定ができるものをいいます。

<助成対象事業>

次のすべてに該当する事業とします。

- 1 不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする事業
- 2 非営利の事業
- 3 NPOが自主的に取り組む事業
- 4 次のいずれにも該当しない事業
 - ①宗教活動および政治活動
 - ②特定の公職者（候補者を含む）または政党を推薦、支持、反対することを目的とする事業

<助成申請受付期間>

2011年12月1日（木）～2012年1月21日（土）17時 必着

（ファックス、eメールは受理しません。持参または配達記録の残る配送方法で提出してください。）
申請に係る相談は、12月1日（木）から受け付けます（要予約）。

<助成期間>

2012年4月から2013年3月までの一年間

<助成事業の選定方法>

- 1 助成事業の選定は、未来ファンドおうみ委員の審査（書類による一次審査、公開プレゼンテーションによる二次審査）により行います。
公開プレゼンテーションは**2012年3月4日（日）**に開催しますので、一次審査を通過し、出席を求められたNPOは参加してください（一次審査の結果は2月下旬に通知します）。
 - 2 審査の評価基準は別表のとおりです。一次審査は申請書の書類審査で、二次審査は申請書と公開プレゼンテーションをベースに、それぞれの委員が評価基準に基づいて第一次判断をし、持ち寄って合議の上、総合的に最終判断をします（審査は非公開）。
 - 3 委員会の審査結果は、各NPOへ文書でお知らせします。
 - 4 委員会の審査により、申請額より助成額が減額されることがあります。
- ※おうみNPO活動基金以外は審査結果によっては、申請した助成先と異なる助成事業で採択されることもあります。

<申請の方法>

- 1 所定の申請書に必要事項を記入のうえ、淡海ネットワークセンターへ持参するか、配達記録の残る配送方法（期限内必着）してください。（ファックス、eメールは受理しません。）
申請書には、次の書類を添付してください。
 - ①定款、規約、会則など、NPOの組織運営のわかるもの
 - ②役員名簿、またはそれに準ずるもの
 - ③今年度の事業計画書と予算書、またはそれに準ずるもの

④前年度の事業報告書と決算書類、またはそれに準ずるもの

※おうみNPO活動基金助成への応募の場合は、過去2カ年分の事業報告書と決算書類、またはそれに準ずるもの

⑤NPOの活動状況がわかるパンフレット、ニュースレター、写真など（任意）

2 申請書の様式は、ホームページからダウンロードしてください。淡海ネットワークセンターに請求いただいても結構です。また、下記の説明会でもお渡しします。

<個人情報の取り扱いについて>

ご記入いただいた個人情報は、当財団の事業以外には利用いたしません。

<採択後のスケジュール>

2012年3月下旬 採否のお知らせ

4月 事業の対象期間の始まり、助成金の前払い手続き
2011年採択団体成果発表会へ参加

9月 中間報告・相談会へ出席

2013年3月 助成対象期間の終了

4月 助成事業実績報告書、領収書（コピー可）の提出
2012年採択団体成果発表会へ出席

5月 助成金の精算支払い

※進捗状況把握のため年間3回程度、事務局が訪問します。

※注意事項

助成事業で作成するチラシ、ポスター、情報誌や報告書などの印刷物には、未来ファンドおうみ助成事業を受けている旨および指定のロゴを記載してください。ロゴのデータをお渡しします。

<事業サポートと交流促進による支援>

採択事業の実施に当たり、淡海ネットワークセンターが情報提供や組織マネジメント、他の組織への橋渡しなどの支援を多面的に行います。また、団体の自立と採択事業を支援するために、相談会や、必要に応じて、組織マネジメントについてアドバイザーの派遣を行います（団体に費用の一部負担あり）。

さらに、助成団体と淡海ネットワークセンターによる交流会を開催して助成団体同士や助成NPO、寄付者と淡海ネットワークセンターの交流を深め、情報交換や相互協力により、それぞれの活動の進展を図ります。

<募 集 説 明 会>

募集説明会を下記のとおり開催しますので、淡海ネットワークセンターまでご予約ください。

- ・ 大津会場 11月29日（火） 18：30～20：00 淡海ネットワークセンター
- ・ 近江八幡会場 12月4日（日） 10：00～11：30 アクティ近江八幡
- ・ 大津会場 12月7日（水） 18：30～20：00 大津市市民活動センター
- ・ 米原会場 12月10日（土） 10：00～11：30 米原公民館
- ・ 草津会場 12月10日（土） 14：00～15：30 草津市立まちづくりセンター

<未来ファンドおうみ運営委員>

井手 慎司（滋賀県立大学 教授）

柴山 直子（有限会社 柴山建築研究所 代表取締役）

成瀬 和子（NPO法人しみんふくし滋賀 専務理事）

西堀 武（株式会社滋賀銀行CSR室長）

福井久美子（NPO法人NPOぽぽハウス副理事長）

（50音順 敬称略）

2) 募集別項目

1. おうみNPO活動基金

<助成の区分と助成対象額等>

- ① 1つのNPOに対する助成額は、50万円から150万円までの範囲とします。
- ② 助成率は助成対象経費の3/4内とします。
- ③ 間接経費（事務職員の人件費や事務所の家賃など。以下同じ）にかかる助成は、助成総額の40%以内とします。
- ④ 情報提供や組織マネジメント、他の組織への橋渡しなどで淡海ネットワークセンターが支援します。
- ⑤ 採択事業の進捗を把握し、支援するため、事業実施期間中にヒアリングを実施します。
- ⑥ 採択事業の取り組みの中間段階で相談会を行い、委員や外部アドバイザーによるアドバイスを受ける機会を設けます。また、助成事業終了後に成果発表会を開催します。

<助成対象経費と助成方法>

- ① 助成対象経費はつぎのとおりとします。
給料・手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗什器備品費、消耗品費、修繕費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、賃借料、保険料、委託費、諸謝金、固定資産取得支出（不動産をのぞく）、雑費等。
- ② 助成が決まったNPO（以下「助成NPO」という）には、必要に応じて80%を限度に前金払いし、残りの額は事業実績報告に基づいて支払います。
- ③ 助成対象となった経費の領収書は、5年間保存してください。経費資料の提出は領収書（コピー可）を提出してください。
- ④ 事業不履行、虚偽の申請・報告の場合には、助成金は返還いただきます。

2. びわこ市民活動応援基金

<助成の区分と助成対象額等>

- ① 1つのNPOに対する助成額は30万円以内とします。
- ② 助成率は、助成対象経費の10/10です。
- ③ 採択事業の進捗を把握し、支援するため、事業実施期間中にヒアリングを実施します。
- ④ 採択事業の取り組みの中間段階で相談会を行い、委員や外部アドバイザーによるアドバイスを受ける機会を設けます。また、助成事業終了後に成果発表会を開催します。

<助成対象経費と助成方法>

- ① 助成対象経費はつぎのとおりとします。
会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗什器備品費、消耗品費、印刷製本費、燃料費、保険料、委託費、諸謝金、雑費等。
- ② 助成が決まったNPO（以下「助成NPO」という）には、必要に応じて80%を限度に前金払いし、残りの額は事業実績報告に基づいて支払います。
- ③ 助成対象となった経費の領収書は、5年間保存してください。経費資料の提出は領収書（コピー可）を提出してください。
- ④ 事業不履行、虚偽の申請・報告の場合には、助成金は返還いただきます。

3. びわ湖の日基金

<助成の区分と助成対象額等>

- ⑤ 1つのNPOに対する助成額は30万円以内とします。
- ⑥ 助成率は、助成対象経費の10/10です。
- ⑦ 採択事業の進捗を把握し、支援するため、事業実施期間中にヒアリングを実施します。
- ⑧ 採択事業の取り組みの中間段階で相談会を行い、委員や外部アドバイザーによるアドバイスを受ける機会を設けます。また、助成事業終了後に成果発表会を開催します。

<助成対象経費と助成方法>

- ⑤ 助成対象経費はつぎのとおりとします。
会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗什器備品費、消耗品費、印刷製本費、燃料費、保険料、委託費、諸謝金、雑費等。
- ⑥ 助成が決まったNPO（以下「助成NPO」という）には、必要に応じて80%を限度に前金払いし、残りの額は事業実績報告に基づいて支払います。
- ⑦ 助成対象となった経費の領収書は、5年間保存してください。経費資料の提出は領収書（コピー可）を提出してください。
- ⑧ 事業不履行、虚偽の申請・報告の場合には、助成金は返還いただきます。

これまでの助成事業ご紹介

<おうみNPO活動基金>

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

事業名：昆虫と遊べる山門水源の森を目指す事業

長浜市西浅井町の「山門水源の森」で子ども達の「虫採り」などを通じた自然と人の関係と生物多様性のある環境の再生。



NPO法人あさがお

事業名：権利擁護活動・成年後見の研修、普及・啓発活動と法人後見

高齢者、障がい者やその介護者等への権利擁護、成年後見の普及啓発、研修を行う。



<びわこ市民活動応援基金>

余呉オペラ実行委員会

事業名：余呉創作オペラ「菊石姫」公演事業

住民主導の多様な文化イベントを行い、地域のアイデンティティを確立するため、住民による手作りオペラを公演。



食育ながはま元気っ子

事業名：しっかり食べてじょうぶな子どもを育てる地域食育啓発事業

家庭における子どもたちの健康を考えた食事を考えていくきっかけ作りとして講演会を開催。



【別表】未来ファンドおうち審査評価基準

評 価 基 準			評 価 の 視 点
企 画	アイ デ ア	先 駆 性	時代に先駆けているかどうか。
		必 要 性	いまの社会的なニーズに応えているかどうか。
		緊 急 性	単なる必要性ではなく、これを優先的に取り上げなければならない緊急性。いろんなニーズがあるなかでなぜこの事業なのか。
		波 及 性	このアイデアが将来は幅広く利用されたり、活動として広がっていく可能性があるかどうか。
		目 標 設 定 性	企画を立て設定した目標が大変優れたものであるかどうか。また、目標がきわめてユニークであるか。
		手 法 性	目標達成の手法や手段が、従来型とは違ってユニークであること。また、目標達成に適していて合理的に組み立てられていること。手法そのもののものの総合性や企画力発揮度はどうか。
		地 域 性	それぞれの地域での環境条件、地域の資源、特性を活かしているか。滋賀県らしさがあるかどうか。
	実 現 力	事 業 計 画 性	事業そのものを着実に実行していける計画性を持っているかどうか。目標を設定してどの段階まで何をやるかといった計画性があるかどうか。
		事 業 費 比 率	人件費、その他諸経費が適切に見込まれているかどうか。
		収 益 性	事業の中で、特に料金や販売など事業の収益を適切に見込んでいるかどうか。
		収 支 全 般	助成金も含めて将来にわたる収支見通しがきちんと立っているかどうか。
		継 続 性	事業計画、収支も含めて、事業そのものが将来にわたって続けられる体制にあるかどうか。
	組 織	事 務 局 体 制	事務局体制が確立されているかどうか。(事務所を持っているかどうかではなく、事務局機能があるかどうか。)
		人 的 資 源	事務局を支える人、人のネットワークを含めた人的な資源の確保ができているかどうか。
		資 金 等 獲 得	資金・物の調達力・獲得力。これまでの資金の収支も含めてお金の問題を適切に処理できていたかどうか。資金獲得が難しいとしてもそれに代わる資源の調達ができているか。または、今後できるかどうか。
		情報デザイン	情報の収集、発信、PR力などの活動の基幹に関わる情報の処理の能力あるいはシステムがあるかどうか。PRをしようとする意欲があるかどうか。
		地 域 信 頼 性	地域に根ざした組織になっているか。地域に根ざして、地域での活動が幅広く多くの人たちによって支えられている活動になっているかどうか。
		自 己 分 析 性	自分たちが何をしなければならないのか。自らのミッションを明確に意識をして、その行動に優先順位が付けられているかどうか。

未来ファンドおうみについて

2011年4月の公益財団法人への移行を機会に、寄付による市民活動支援の仕組みをつくるために、未来ファンドおうみを創設しました。

淡海ネットワークセンターでは、NPOの自立支援を目的に、2002年度に「おうみNPO活動基金」を設置し、これまで滋賀県や企業、個人のみなさまから資金提供を受けながら、延べ100のNPOに対し、1億円余りの助成を行ってきました。この「おうみNPO活動基金」を引き継ぎ、さらにより幅の広い助成、充実した助成事業につなげるために、地域や市民活動への思いのこもったご寄付による基金の創設も募集し、市民活動の支援を行ってまいります。

未来ファンドおうみは、みなさまの地域への想いと市民活動を支える市民の「志」を寄付としてお受けし、市民活動団体への助成事業としてつなげています。「おたがいさまがつながり、活きる」社会づくりのしくみとなる未来ファンドおうみへの寄付をお考えの方は、淡海ネットワークセンターまでご相談ください。

詳細につきましては、インターネットにて「未来ファンドおうみ」で検索してください。

■ おうみNPO活動基金資金のご提供をいただいたみなさま

滋賀県、(財)民間都市開発推進機構、(株)滋賀銀行、(株)びわこ銀行、東京海上アセットマネジメント投信(株)、生活協同組合コープしが、(株)NTTドコモ関西、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド、しがぎんリース・キャピタル(株)、損保ジャパンちきゅうくらぶ、レーク商事(株)、富士ゼロックス(株)、大阪ガスグループ京滋地区“小さな灯”運動、オムロン株式会社草津事業所、(社)全日本不動産協会滋賀県本部・(社)不動産保証協会滋賀県本部、ほか、個人のみなさま多数（2011年10月現在）

■ びわこ市民活動応援基金

ボランティアや市民活動の支援を目的に、関西アーバン銀行（旧びわこ銀行）と社員の皆様からの寄付金によって、2010年2月16日に設立されました。

■ びわ湖の日基金

びわ湖の日30周年を記念して、琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる、市民による実践活動や調査活動などを支援するために設立されました。

ご寄付いただいたみなさま：株式会社いのうえ、有限会社とも栄菓舗、株式会社ヌーベルムラチ、匿名個人2件



未来ファンドおうみは、みなさまの地域への想いと市民活動を支える市民の「志」を寄付としてお受けし、市民活動団体への助成事業としてつなげています。

「おたがいさまがつながり、活きる」社会づくりのしくみとなる未来ファンドおうみへの寄付をお考えの方は、淡海ネットワークセンターまでご相談ください。

淡海ネットワークセンター

（公益財団法人淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 TEL.077-524-8440 FAX.077-524-8442
E-mail : office@ohmi-net.com ホームページ : <http://www.ohmi-net.com/>